



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ミューチュアル  
 コード番号 2773 URL <http://www.mutual.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 榎本 洋  
 (氏名) 吉野 尊文

TEL 06-6315-8613

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	4,341	23.5	91	—	106	279.0	76	316.7
27年3月期第2四半期	3,516	5.4	2	—	28	—	18	—

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 22百万円 (△55.7%) 27年3月期第2四半期 51百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	10.82	—
27年3月期第2四半期	2.60	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
28年3月期第2四半期	14,524	—	7,996	—	53.5	1,093.41
27年3月期	14,628	—	8,142	—	53.9	1,110.49

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 7,765百万円 27年3月期 7,886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
27年3月期	—	0.00	—	23.00	23.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	12,660	11.9	1,040	13.3	1,060	7.4	616	86.74

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期2Q	7,620,320 株	27年3月期	7,620,320 株
② 期末自己株式数	28年3月期2Q	518,345 株	27年3月期	518,129 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期2Q	7,102,064 株	27年3月期2Q	7,102,284 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費等一部に鈍い動きがありますが、政府・日銀による継続的な経済政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善が堅調にみられ、景気全体としては緩やかな回復基調が続いております。しかしながら、中国や新興国などの景気減速に加え、ドイツ排ガス不正問題、これらに伴う世界的な株安等、海外経済における下振れ懸念があり、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況下、当社グループでは平成27年4月1日付のエンジン会社吸収合併を機に、組織再編を行い、グループ一体となり顧客へ最適な提案活動が行えるよう、体制を強化するとともに新型包装機を投入する等、収益機会の拡大に注力して参りました。売上高につきましては、概ね計画通りに推移し、前年同期比825百万円増加いたしました。損益面におきましては、子会社で低採算の案件があり売上高総利益率が2.3ポイント低下しましたが、増収効果により売上総利益は85百万円増加しました。また、人件費やサービス費の削減により販売費及び一般管理費が減少したため、営業利益以下の各段階利益も増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は4,341百万円（前年同期比23.5%増）、売上総利益は869百万円（同10.9%増）、営業利益は91百万円（前年同期は2百万円の利益）、経常利益は106百万円（前年同期比279.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は76百万円（前年同期比316.7%増）となりました。

報告セグメントに基づく各事業別の概況は以下の通りであります。

## ①産業用機械事業

当セグメントにおきましては、売上高全体では4,023百万円（前年同期比27.6%増）でありました。このうち、包装機が677百万円（同248.3%増）、製剤機が608百万円（同204.4%増）、充填機が1,097百万円（同170.1%増）、一連ラインが395百万円（同100.2%増）と好調に推移いたしました。検査装置が217百万円（同79.5%減）、改造・調整・修理が655百万円（同6.8%減）、部品が372百万円（同5.8%減）と減少しました。

## ②工業用ダイヤモンド事業

当セグメントにおきましては、売上高286百万円（前年同期比10.8%減）となりました。内訳では、人造ダイヤモンド148百万円（同11.3%増）、原石100百万円（同5.7%増）、パウダー36百万円（同9.5%増）となっております。

## ③その他

その他は、主に坐薬用包装資材の販売で売上高31百万円（前年同期比23.0%減）であります。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比103百万円減少し、14,524百万円となりました。これは主として仕掛品が960百万円、前渡金が445百万円、有形固定資産のその他が143百万円増加する一方で、受取手形及び売掛金が1,438百万円、現金及び預金が351百万円減少したことによるものです。負債につきましては、前連結会計年度末比42百万円増加し、6,527百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金、電子記録債務が合計で704百万円、未払法人税等が214百万円減少する一方で、前受金が1,098百万円増加したことによるものです。純資産は、主として配当金の支払いが163百万円あったことにより、7,996百万円となり前連結会計年度末比145百万円の減少となりました。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は3,300百万円となり、前連結会計年度末より350百万円減少となりました。主な要因は以下のとおりであります。

営業活動の結果、獲得した資金は121百万円（前年同期比87.8%減）となりました。これは主にたな卸資産の増加950百万円、仕入債務の減少704百万円、前渡金の増加445百万円、法人税等の支払額246百万円等により減少したものの、売上債権の減少1,438百万円、前受金の増加1,098百万円等により増加したものであります。

## （投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、使用した資金は370百万円（前年同期比257.0%増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出257百万円、定期預金の預入による支出170百万円等により減少したものであります。

## （財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、使用した資金は101百万円（前年同期比22.8%減）となりました。これは主に短期借入金の増加79百万円等により増加したものの、配当金の支払額163百万円等により減少したものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しとしては、国内・海外とも不安定要素が多く、依然として不透明な状況が続くものと思われませんが、現状では平成28年3月期 通期連結業績予想につきましては、前回発表（平成27年5月18日公表「平成27年3月期 決算短信」）から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（企業結合に関する会計基準等の適用）

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日）および「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日）等を第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更および少数株主持分非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間および前連結会計年度については、四半期連結財務諸表および連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,735,110	3,383,206
受取手形及び売掛金	4,482,454	3,043,759
有価証券	59,962	57,852
商品及び製品	65,729	70,368
仕掛品	1,529,459	2,489,560
原材料	71,047	57,180
前渡金	772,589	1,217,665
繰延税金資産	137,901	99,355
その他	316,308	354,230
貸倒引当金	△4,475	△3,591
流動資産合計	11,166,087	10,769,586
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	450,870	536,210
土地	668,904	668,904
その他(純額)	166,782	310,550
有形固定資産合計	1,286,557	1,515,665
無形固定資産		
のれん	4,564	—
その他	8,243	7,615
無形固定資産合計	12,807	7,615
投資その他の資産		
投資有価証券	1,535,113	1,479,771
長期預金	151,500	251,200
その他	1,096,690	1,121,229
貸倒引当金	△620,679	△620,675
投資その他の資産合計	2,162,624	2,231,525
固定資産合計	3,461,989	3,754,805
資産合計	14,628,077	14,524,392

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,601,856	3,187,111
電子記録債務	756,176	466,739
短期借入金	182,020	260,770
1年内返済予定の長期借入金	12,020	2,060
未払法人税等	250,928	36,601
前受金	961,368	2,059,668
賞与引当金	103,093	91,194
その他	307,680	151,118
流動負債合計	6,175,142	6,255,263
固定負債		
退職給付に係る負債	158,898	160,307
役員退職慰労引当金	73,360	75,792
その他	78,143	36,405
固定負債合計	310,403	272,506
負債合計	6,485,545	6,527,769
純資産の部		
株主資本		
資本金	669,700	669,700
資本剰余金	695,975	695,975
利益剰余金	6,220,250	6,133,719
自己株式	△262,317	△262,493
株主資本合計	7,323,607	7,236,901
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	573,116	537,546
繰延ヘッジ損益	△9,760	△9,224
為替換算調整勘定	△48	168
その他の包括利益累計額合計	563,307	528,490
非支配株主持分	255,617	231,231
純資産合計	8,142,531	7,996,622
負債純資産合計	14,628,077	14,524,392

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	3,516,121	4,341,620
売上原価	2,731,578	3,471,853
売上総利益	784,543	869,767
販売費及び一般管理費	782,307	778,545
営業利益	2,236	91,221
営業外収益		
受取利息	6,077	6,306
受取配当金	13,264	11,325
為替差益	—	3,779
その他	10,454	3,892
営業外収益合計	29,796	25,303
営業外費用		
支払利息	788	1,059
為替差損	3,119	—
投資有価証券評価損	—	7,790
その他	10	1,106
営業外費用合計	3,917	9,956
経常利益	28,114	106,568
特別利益		
固定資産売却益	2,197	131
特別利益合計	2,197	131
特別損失		
固定資産売却損	52	15
特別損失合計	52	15
税金等調整前四半期純利益	30,259	106,684
法人税、住民税及び事業税	7,765	32,578
法人税等調整額	10,245	13,830
法人税等合計	18,011	46,409
四半期純利益	12,247	60,275
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△6,187	△16,544
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,435	76,820



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	12,247	60,275
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	42,455	△38,061
繰延ヘッジ損益	△2,650	535
為替換算調整勘定	△220	217
その他の包括利益合計	39,584	△37,308
四半期包括利益	51,832	22,967
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,635	42,003
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,803	△19,036

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	30,259	106,684
減価償却費	24,587	27,522
のれん償却額	4,564	4,564
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△3,510	△887
賞与引当金の増減額 (△は減少)	5,601	△11,899
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△24,617	1,418
受取利息及び受取配当金	△19,342	△17,631
支払利息	788	1,059
売上債権の増減額 (△は増加)	1,759,517	1,438,664
前受金の増減額 (△は減少)	396,296	1,098,730
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△718,953	△950,987
仕入債務の増減額 (△は減少)	67,439	△704,080
前渡金の増減額 (△は増加)	△236,971	△445,404
その他	△30,099	△192,471
小計	1,255,560	355,280
利息及び配当金の受取額	15,480	13,818
利息の支払額	△788	△1,059
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△277,396	△246,904
営業活動によるキャッシュ・フロー	992,856	121,134
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△70,700	△170,700
定期預金の払戻による収入	72,500	72,500
有価証券の取得による支出	△1,522	△501,429
有価証券の償還による収入	—	499,836
有形固定資産の取得による支出	△67,577	△257,588
投資有価証券の取得による支出	△23,971	△5,443
貸付金の回収による収入	1,749	642
その他	△14,139	△7,894
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103,662	△370,077
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	10,880	79,125
長期借入金の返済による支出	△9,960	△9,960
配当金の支払額	△127,647	△163,804
非支配株主への配当金の支払額	△3,350	△5,350
その他	△1,180	△1,355
財務活動によるキャッシュ・フロー	△131,258	△101,344
現金及び現金同等物に係る換算差額	△364	△116
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	757,571	△350,404
現金及び現金同等物の期首残高	3,073,286	3,651,210
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,830,857	3,300,806

（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

- I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,153,566	321,049	3,474,615	41,505	3,516,121	—	3,516,121
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,153,566	321,049	3,474,615	41,505	3,516,121	—	3,516,121
セグメント利益	189,942	37,116	227,058	3,333	230,391	△228,155	2,236

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額△228,155千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間（自平成27年4月1日 至平成27年9月30日）  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	産業用機械 事業	工業用ダ イヤモン ド事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	4,023,246	286,422	4,309,669	31,951	4,341,620	—	4,341,620
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	4,023,246	286,422	4,309,669	31,951	4,341,620	—	4,341,620
セグメント利益	332,889	29,751	362,640	3,238	365,878	△274,657	91,221

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、坐薬用包装資材等を含んでおります。  
2. セグメント利益の調整額△274,657千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用です。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。  
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。